

謹賀新年

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。毎朝、仰ぎ見る霊峰大山。そのすそ野で豊かな恵みをいただき、大きな災害なく平穏に暮らせる日常をありがたく思います。

さて、山陰道町内全線開通後の地域づくりを念頭に、大山・名和・中山各インターチェンジエリアに子育て支援の拠点となる保育園建設を進めてきました。昨年4月には「名和さくらの丘保育園」が開園し、保・小・中学校がつながる一体的な文教エリアとなりました。

また、「道の駅大山恵みの里」は国交省事業として、道路観光情報棟・トイレ増設・バリアフリー歩道の設置により、物販・情報発信拠点が充実しました。中山ナスパルタウン分譲地では、販売促進により、これまで15区画の商談・契約が進んでいます。

さらに、大山電機工場跡地には、早期に菅公学生服(株)が工場進出を決定いただき、現在も生産拡大による雇用増が進行中です。

山陰道の開通は、町内地域間の交通環境改善・移動時間の短縮に大きく寄与しており、

これから、さらに一体感ある町づくりにつなげてまいります。

「自らの地域は自ら考え・つくり・次の世代につなげてゆく」を基本に施策を推進。村づくりや各グループ、まちづくり地区会議等、活発な活動が展開される中、5つの地区(上中山・逢坂・御来屋・庄内・高麗)で地域自主組織の活動となり、積極的に事業が展開されています。集落や自治会との連携により、さらなる充実した活動を期待します。

本年3月28日は、新大山町誕生10周年目となります。これまで「大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまち」をテーマに様々な取り組みを展開してきました。これを土台とし、次の時代へ。今、町民参画の「大山未来会議」が会合を重ね、「大山町未来づくり10年プラン(総合計画)」の策定へと進んでいます。そして、その行動計画は国の地方創生で示されている、大山町版地方創生総合戦略へ反映させてまいります。

今年も、これまで検討・協議してきたことを様々な形で実践する年であり、そのためには、町民の皆様と官民一体となった推進が不



可欠です。その重点テーマは、一、子育て・定住 二、産業振興 三、健康対策 四、町民参画です。

なお、平成27年度から合併算定替による国の地方交付税減額が始まりますので、まず平成30年度を目途に、職員数概ね20人削減を進めるため、今春に組織・機構の見直し・再編を行うこととしています。

「大山の恵み」という魅力的で豊かな資源・財産を活かし、皆が安心して暮らせる、若者が住み続けたいにぎわいある元気な大山町を目指し、取り組みを進めます。皆様のより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆様が健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年の挨拶いたします。